

① 日経(5)
2007.6.18 (3)

「昨年日本人はあまりいなかつたが、ことしは参加者が十四人と飛躍的に増えた」。社会起業家コンサルタントの有限会社、フォレスト・プラクティス代表、田辺大（36）は、今春、ハーバード大学で開かれた社会起業家をテーマにした大会の印象をこう語る。

ソーシャル・アントレプレナー、つまり社会起業家は高い志とビジネス手法をあわせ持つ。経済的価値だけでなく社会的価値を創造する。社会にイノベーション（革新）を起こす。代表格である世界初のマイクロクレジット、グラミン銀行創設者、ビル・ドレイトンは“社会起業家の父”と呼ばれる。マッキンゼーからこの財団に移ったフェルナンデ

ノーベル賞で注目集まる

業者、ムハマド・ユヌスが昨年ノーベル平和賞を受賞したことで、一気に注目が集まっている。

毎年、大会に参加している田辺は『9・11』以前は、米国でも若者は金融と情報技術（情報技術）でもつけることに血眼だった。今、世界の貧困や自分の家族、地域の大切さに気づいた」と解説する。「学者や研究者だけでなく、今年は若者がパネリストで登場していた」

田辺自身、社会起業家として、目と耳に障害がある盲ろう者の雇用促進を目指す福祉ビジネス、オフィスマッサージを運営している。自動車メーカーに勤めていた時、阪神大震災のボランティアから戻り、社長に「物資を運ぶトラックを出してください」と直訴した。社長の返事は「君ほどこの部署の人間なんだ」。ボストン大学の会場でアシヨカ財團の幹部に、「ドレイトンは日本進出に関心を持つている」と耳打ちされた。日本にも新しい時代がやってくる、そんな予感がしている。

高い志 ビジネスと両立

◇
事業化した非営利組織（NPO）やソーシャルベンチャーのリーダー、社会貢献を目指す経営者など様々な社会起業家が、社会の課題に挑む現場を追った。



大講堂も満員の大盛況（ハーバード大学での社会起業家の大会）

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）
（敬称略）

2007.6.19 (5)



雪が積もる冬も自然の中で育てられる

中国山地の中山間地。島根県邑南町に、自然のままの環境で牛を育てる「自然放牧酪農」を行っている青年がいる。シックス・プロデュース有限会社代表の州濱(すはま)正明(24)だ。「実家が乳製品の卸業を営んでいた。よくお年寄りから『昔の牛乳は味が違ったよね』と言われた」州濱の調査によれば、現代の一般酪農は基本的に牛舎飼い。牧場に放つのは季節、時間とも限定的だ。二歳になつた若牛を牛舎に入れ、妊娠させて三百日搾乳

する。体力を消耗するので五歳になつたら処分というところが多い。高カロリー濃厚飼料で、いかに濃い、つまり乳脂肪分が多い牛乳を大量に生産するかに腐心しているという。

州濱はまったく逆の方向を目指すことを決意する。

二〇〇四年、島根県立大学でも州濱は無念そうだ。

「思わぬ誤算がありました。気候が違つせいか、ピロ病で三頭が死んでしまつたんです。くやしかった」と今

でも州濱は無念そうだ。

乳牛 自然放牧で育てる

味独特「地 ミルク」 過疎の地に滋味

三年生の時だ。近隣の老人が、孫に自然放牧をやってもらおうととつておいた小牛二頭を「州濱君、頼むよ」と安く譲ってくれた。一生懸命育て、乳を搾つて市場に出荷しようとしたが、誰も引き取ってくれない。自然放牧だと運動するし食べるのは牧草だから、乳脂肪が少ない。夏は夏草の香りがす

ドキュメント

挑戦

(編集委員 原田勝広)
（敬称略）

三十粒の州濱の牧場では二十四頭が草をはんでいい音をたてながら食べる。自然放牧だから牛舎はなく、二十四時間、三百六十五日、雨が降ろうが、雪が降ろうが、外である。山から流れる豊富な水、澄んだ

きれいな空氣。歩き回るから足は太く、冬には毛が五センチ以上に伸びる。「健康的な生活なので牛の寿命は十五歳以上。欧洲で注目される実践者、岩手・中洞牧場に牛乳を引き取つてもらつた。そして、もうひとり、自然牧場を続けていた北海道・斎藤牧場から小牛十頭を島根に入れたのである。

「思わぬ誤算がありました。気候が違つせいか、ピロ病で三頭が死んでしまつたんです。くやしかった」と今でも州濱は無念そうだ。

「少なく、値段は他のもののが三倍だ。それでも独自の市場を開拓、健康的でおいしい、と地元や広島では、宅配、レストラン、お菓子屋さんで好評だ。

現在生産量は一日六千五百、月商二百八十万円と小規模だ。州濱は里山に二ヵ所目の牧場を準備中。年末には小牛を入れる。地元の子どもたちを招き、触れあい牧場のようなものにする予定だ。後は、自然放牧の仲間を増やす。かつて自然放牧をやつていたがあきらめた酪農家の再挑戦組、素人だが自然放牧に挑戦したい若者、そんな人たちが大勢いる。過疎で放置された田畠や山林は牧場に利用できそうだ。本物の牛乳探しは、地域再生への夢をはぐくんでいる。

ストレス社会、日本。自殺率は異常に高いし、うつ病での休職も増えている。

「日本はメンタルヘルスを置き去りにしている。高度な専門性を生かしてメンタルな問題の解決を支援できたら」。そんな思いからピースマインド（東京）社長の荻原国啓（29）が日本で初めてオンラインカウンセリングを始めたのは一九九八年、大学三年生の時である。インターネットなら匿名で誰にも知られずにアクセスできる。職場の人間関係、キャリア、家族など悩



インターネットに加え
電話でもカウンセリング

「うちは大丈夫、ニーズはないよ」と冷たかった。しかし、本来は、成果主義と車の両輪のはずのメンタルケア不足は明らか。今では、上場企業二百社と、社員が無料でカウンセリングを受けられる従業員支援プログラムの契約を結んでいる。荻原はロンドン生まれ、大学に入って人材紹介事業を立ち上げるなどベンチャーフィードを發揮してきた。I

心のマッサージ

み事を書いて送信すれば、待機しているカウンセラーから自分のパソコンに返事が来る仕組みだ。「メンタルな問題は、会社の診療所やカウンセラーは利用しない。パソコンなら秘密が保持されるうえ、いつでも、どこからでも相談できる」と荻原は利点を強調する。

企業にアプローチした

ネット・電話・対面 全方向からケア

が、初めは体面もあるのか「うちは大丈夫、ニーズはないよ」と冷たかった。しかし、本来は、成果主義と車の両輪のはずのメンタルケア不足は明らか。今では、上場企業二百社と、社員が無料でカウンセリングを受けられる従業員支援プログラムの契約を結んでいる。

荻原はロンドン生まれ、大学に入って人材紹介事業を立ち上げるなどベンチャーフィードを発揮してきた。I

ドキュメント 挑戦

揮する訓練を受けていた。この話を聞いてメンタルケアを日本社会に提供できない。相談者の立場にたつて問題設定そのものの視点を変え、その人自身がい

い方向に変わっていくようサポートする。われわれのサービスを必要とする人のところまで完全にはたどり着けていない」と荻原はじれたそうだ。

谷のビジネスホテルで「このマッサージルーム」を二〇〇一年から開設。誰も気軽に通えるように、百貨店でもサービスを始めた。オンラインが一往にこんな話を聞いた。「二

人の才能ある投手がいる。

二メートル近い大男で剛速球を投げる。一人は超一流の投手。

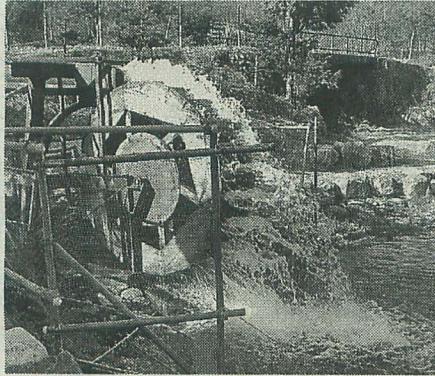
年間売り上げは五億円に達する。全体の利用者は六〇%が女性。三十代が多く、男性の四九%、女性の四二%を占める。がんばるキャラウーマン、まだ精神的に不安定な若手社員の心の闇がいま見える。深刻な相談もあり、苦労は絶えない。「相談者の立場にたつて問題設定そのものの視

（編集委員 原田勝広）

ミニ水力発電で地域おこし

大阪の財團法人、公害地域再生センターを辞め、傘木宏夫（47）が故郷の長野県大町市へ帰ったのは二〇〇一年のことだ。非営利組織（NPO）地域づくり工房を立ち上げた。

「帰つてみて驚いた。大町市はアルミニウム生産工場や繊維工場の立地、黒四ダムの開発など外発型の地域開発を進めてきた。長野五輪後、地域経済は低迷、立山・黒部アルペンルートの入り口という好立地にもかかわらず、中心街に活気がない」。地域の資源を生



クラシック水車の形をしたミニ水力発電所（長野県大町市）

ジエクトの実行委員長である
言い出しつべでこのプロ
jectの実行委員長である
ことがわかった

ドキュメント 挑戦

環境にやさしく

観光の目玉にも

電機をつけて水車をくるくる回し、「ミニ発電しよう」と傘木はいう計画だ。売電するほど

振り返る。

「それでも川上ミニ水力ではないが、自家消費用には十分で、節電、省エネ効果は大きい。傘木は網の目のように町を流れる高瀬川水系の農業用水路を調べてみた。「総延長はなんと三百二十キロ。ミニ発電所の候補地は二百箇所にのぼる」とがわかった

かした仕事をおこしき、とワクシップを開いた。ここまで順調そこで生まれたのが「くるくるエコプロジェクト」である。大町市は急こう配の扇状地だけに、雪どけ水を一気に流さず、落差工を作つて階段状にゆっくり流れている。初めて来た人に

はうるさいくらいの水音が町にある。この落差工に発

る駒沢一明、電気を多く使つ種苗用ビニールハウスを所有する小西国弘、元国鉄の変電所技術者、川上博の三人がミニ発電所に名のりをあげた。ここまで順調だった。しかし、予期せぬ事態が発生した。「落差の大い水路がある小西ミニ水力発電所が、最大出力八千九百ワットと一番規模が大き作つて階段状にゆっくり流れく、いいモデルになりそうだ。しかし、水利権にかかる土地改良区の許可がおりず、計画は頓挫して

かなっている。駒沢ミニ水力はベトナム製で八万円と出力七百ワット。こちらも稼働している。

挫折はあつたものの、傘木らは七転び八起き。〇五年には、新たに、コヨミ平川上ミニ水力と同じ蓄電型の、クラシック水車の形を採用、見栄えを工夫した。川上ミニ水力が完成、漁業協同組合が運営する養魚場で稼働開始。人が集まる場所なので、クラシック水車の形で、地域づくり工房に寄付してもらうESCO契約を結んだ。

昨年は豪雪で止まるなど評判は悪くない。いま計画しているのは、商店街の水路を使って発電、アーケードの夜間照明用に電力を送ること。今後十年間で十カ所くらいにミニ発電所をつくりたい意向だ。水路を生かした個性を出せば、省エネで温暖化防止に役立つだけでなく、見て楽しいので観光の目玉にもなりそう

（編集委員 原田勝広）
// 敬称略

ボーネルンド（東京）社長の中西弘子（62）は北欧などから子どもの玩具を輸入している。商品を「おもちゃ」ではなく、「遊び道具」と呼ぶ。「日本は教育といえば勉強のこと。福祉国家の北欧では子どもを身とも健全に、自立した人間に育てることが教育。それには乳幼児期の多様な体験が不可欠で、遊び道具は極めて重要なんです」

子どもの視点で選ぶ玩具

査する。日本のおもちゃは大人の利益という視点でしか作られない、というのが持論だ。「創業当時は苦労の連続でした。問屋に持つていつても、こんなものが売れないよ」と突き返された」と中西。

「キャラクターもついてないデンマーク製のポリプロピレンの砂遊び用バケツがグーンと増えた。米国ではファストフードの影響で子どもの糖尿病が問題になっているが、日本でも前回転ができない、真っすぐに走れないなど運動機能の低下がみられる。中

角にも遊び場ができる。では、その効果は?と問われると難しい。お客様は「おかげでIQがあがった」との声も寄せられるが、わざわざは「おかげでIQがあがった」との声も寄せられるが、わざわざお客様ではない。ただ、インドア・プレイグラウンドで子もを自由に遊ばせるといふデータは出ている。

心身とも健全に遊びから「教育」

感覚を養うサイバーホイール

子どもに人気の、バランス感覚を養うサイバーホイール

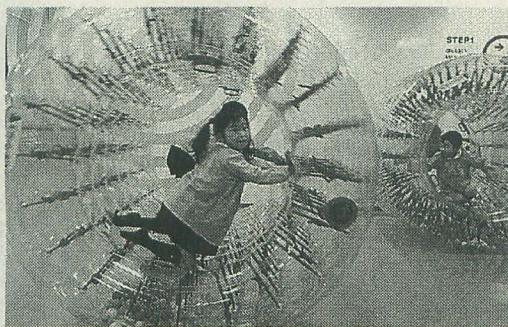
橋にオーブンした直営店だけだった。教育玩具のブティ

挑戦

ドキュメント

が八百円。弾力性があり、雪でも割れないなど耐久性に優れ、手に食い込まないよう取っ手も工夫されているのに、百円ショップのバケツに負けてしまう」しかし、TVゲームなどが愛動的なものに対し、中西が扱うものは自ら遊ぶための道具であり、継続的に蓄積される。転機となつたのは一九八六年、大阪・心斎橋にオーブンした直営店だ

（編集委員 原田勝広）



「ツクを目指し、客に直接、販売員を介して「子どものための生活道具」いう社会的価値を伝えることに努めた。販売員をインストラクターとして教育、玩具の選び方から、製造された文化的な背景まで丁寧に語らせたことで理解者が持論だ。創業当時は苦労の連続でした。問屋に持つていつても、こんなものが売れないよ」と突き返された」と中西。

西は遊具の開発やセミナーを開催、「子どもが危ない。楽しく遊ぶことで解決できる」と訴えてきた。

親子で全身を使って遊んでもらおうと、スタートし

れる「ユニバーサル・プレイシング」だ。足形をたどって歩く遊具、洗濯ばさみを使ってリハビリ

療法など、老人施設を明るくしてくれそうなアイデアも多かったが、売れなかつた。高齢者の増加で最近、売れ出したというから仕掛けが少し早すぎたのかかもしれない。」

（敬称略）

の運動不足に対し、遊ぶ環境をいかに整備するかに腐心しており、いろんな場所に遊び場を作る相談を引き受けている。公園や保育施設だけでなく、レストラン、カーディーラーまで広がった。お寺、札幌ドームの一角にも遊び場ができる。

では、その効果は?と問われると難しい。お客様は「おかげでIQがあがった」との声も寄せられるが、わざわざお客様ではない。ただ、インドア・プレイグラウンドで子もを自由に遊ばせるといふデータは出ている。

一般的の保育園の約一・五倍というデータは出ている。

が苦笑いするのは、何年か前に提案した、子どもから高齢者まで楽しく遊べ、脳を鍛える遊具「ユニバーサル・プレイシング」だ。足形をたどって歩く遊具、洗濯ばさみを使ってリハビリ

服部篤子（41）は、大英博物館のエジプトギャラリードボランティアをしていました。一九九八年のことだ。

ロゼッタ石の横で入場者に博物館運営のための寄付を呼びかけ、お礼に創設者、スローン卿のメダルを手渡すのである。英国ではボランティアが大事にされているからやましかった。

養成講座やコンテスト

日本では、日本NPO学会に発展するNPO研究フォーラムが九三年に発足、大阪大学の院生だった服部も参加した。阪神大震災の翌年には、日本NPOセンターが立ち上がっていた

が、ロンドンで服部は「NPO（非営利組織）の次は社会起業家だと確信した。宮城治男（34）が特定非営利活動法人（NPO法人）、ETIC（東京）を設立したのが早稲田大学の学生だった九三年だ。起業希望の学生をITベンチャーヘ紹介していた。二〇〇一年に転機が訪れる。ETIC・ソーシャル・ベンチャー・センターを新プロジェクトとして始めた。IT起業の成功者は、二十代で億万長者になつたが、その先のビジョンを持てなかつた。起業家精神を、利

だつた。「ネーミングが鮮。ブレア首相もことあるじとに、社会起業家を支援します、と口にしていた」日本では、日本NPO学会を育てる研究集団をつくりともちかけ、翌年、東京・虎ノ門で社会起業家研究ネットワーク（CAC）が活動開始。企業、官庁、NPO、財団、大学など多様なメンバーが集まつた。今、服部は大学で教鞭（きょうべん）をとる傍（そば）り、東京駅前のビルで「丸の内ビジネス・イノベーションシリーズ」と銘打った社会起業家養成講座を開催している。



ドキュメント

挑戦

ETIC・主催のビジネス・プラハ・ハントスト「のトヤーム」は若者の熱気があふれていた

は、会う人に「社会起業家を育てる研究集団をつくり」ともちかけ、翌年、東京・虎ノ門で社会起業家研究ネットワーク（CAC）が活動開始。企業、官庁、NPO、財団、大学など多様なメンバーが集まつた。今、服部は大学で教鞭（きょうべん）をとる傍（そば）り、東京駅前のビルで「丸の内ビジネス・イノベーションシリーズ」と銘打った社会起業家養成講座を開催している。

宮城は日本初のソーシャルベンチャーのビジネス・

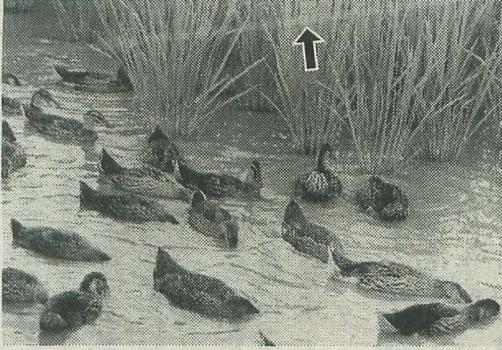
概念知らしめ定着に一役

YCLEで若手社会起業家を育成する一方、地域での人材育成を支援する「チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト」を手がける。服部、宮城、二人の組織から、大物が続々と出ているわけではない。しかし、こうしたサポーターが社会起業的な生き方を日本人に意識させ、定着させた功績は大きい。=敬称略

イノベーション
by シヨン
社会起業家

「あなたは、世界の社会起業家のひとりに選ばれました」。合鴨（あいがも）農法の先駆者、古野隆雄（56）の福岡県の自宅にシユワブ財團からアクスが届いたのは二〇〇一年春のことだ。「最初はいたずらか」と笑う古野だが、ダボス会議に招かれた。社会起業家としては唯一の日本人だった。

古野の合鴨農法歴は十九年になる。無農薬有機農法を続けてきたが、一番の苦労は除草だった。ある時、自然農法家、置田敏雄が記



水田に放った合鴨を電気柵（矢印）で守る

ある。全国合鴨水稻会が結成され、今一万人がこの農法を採用している。古野は中国、台湾、ベトナムなどアジア各国を回り、合鴨農法を伝えている。「中国では、肥育のため畠間だけ田に放つ稻田養鴨が七百年前からあった。しかし、近代化で農薬が使われ、鴨が危険だという理由で廃れた」しかし、〇四年に、江蘇省を再訪し驚いた。古野式に柵で囲う「稻鴨共作」が

農業の先駆者たち

した合鴨による除草法のモデルを見た。試してみると合鴨があつと言う間に雑草を食べてしまった。「問題は野犬が襲うことだった。インシシン防止用の電気柵を導入乗り切った」

合鴨の効果は害虫防除、ふん養分供給など幅広い。食肉としても売れるので、稲作と畜産の「同時作」で

二十万ha（九州の稲作面積に匹敵）に広がっていた。ベトナムで指導したらキューバへ伝播（でんぱ）。ギリマンジャロのふもとでも古野式が試みられた。今や「世界の合鴨農法」である。

古野と同じように環境、野犬が襲うことだった。インシシン防止用の電気柵を導入乗り切った。中田智洋（56）は無添加無漂白のモヤシを開発した。「社会貢献が企業成功の秘訣。若い社員も國のため、ライバルと戦えでは勤め

野大が襲うことだった。インシシン防止用の電気柵を導入乗り切った。中田智洋（56）は無添加無漂白のモヤシを開発した。「社会貢献が企業成功の秘訣。若い社員も國のため、ライバルと戦えでは勤め

野大が襲うことだった。インシシン防止用の電気柵を導入乗り切った。中田智洋（56）は無添加無漂白のモヤシを開発した。「社会貢献が企業成功の秘訣。若い社員も國のため、ライバルと戦えでは勤め

野大が襲うことだった。インシシン防止用の電気柵を導入乗り切った。中田智洋（56）は無添加無漂白のモヤシを開発した。「社会貢献が企業成功の秘訣。若い社員も國のため、ライバルと戦えでは勤め

「共作」の精神 世界をつなぐ

かない。社会、地域のため

ならない。社会、地域のためなら必死に働いてくれる」

中田にとって意外な提案が岐阜県からもたらされたのは、一九九八年のことだ。「岐阜県からアルゼンチンへの移民は苦労が多い。一方、岐阜県の食糧自給率は低い。両方の解決の

アリーンクスしようゆ、みそを開発したら、これがおいしいと大評判」とうれしそうな中田。「バイオ燃料が注目されているが、原料のトウモロコシを鶏のエサ用に干葉へ輸出してきた米国農家が、突如、打ち切りを通告してきた。実はギアリ

ンクスは裏作でトウモロコシも作っているので早速商談に入っています。大豆価格もおりで高値に」。ギアリングクスの存在価値が高まっている。

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）



蒸した温かい葉っぱでフットバス(足浴)を楽しむ(下川町森林組合の工場で)

北海道大学大学院の農学研究科で森林政策学を専攻した奈須憲一郎(34)は、一九九九年、旭川に近い上川郡下川町役場に就職した。頭にあつたのは、環境配慮型の地域づくりによる内発的発展。「過疎化は進んでいる。でも、森林組合で働く森好きの東京の元車掌や農民画家など都会からの移住者も多いんです」

森林 活用して守る

勝の小豆が伊勢名物のまんじゅうに、といった真合に。研究会で知恵をしぶり、トドマツの葉から、アロマテラピーに使う精油を生産、自然療法プロジェクトもスタートさせた。

もうひとつユニークな存在が「さーくる森人類」。森組合へイターン、Jターンした移住者らの集まり

在が「さーくる森人類」。森組合へイターン、Jターンした移住者らの集まり

（東京）の持続可能経済研究所所長、牧大介(33)も農学研究科を出た。京都大学大学院である。就職した

奈須とは異なるアプローチで地域再生と持続可能な社会の実現を目指すアミタ

タードを創設してもらい、

つて事業を生み出したい

とアミタ内に持続可能経済

研究所を転身した。

「良い森を育てるには、手間暇かけた管理が欠かせ

ない。その木材を使ってビ

ジネスをすればするほど、

地域も環境も良くなるよう

総合プロジェクト」が

私の仕事」と牧。「四十

・結の森プロジェクト」で

は、企業の社会的責任(C

S R)の観点から森林再生

に関心を持つコクヨと地元

の森林組合、町役場などと

の仲介役を果たした。

滋賀県高島市や岡山県西

粟倉村で、森林や自然環境

など地域資源を生かした地

域再生を成功させた。「会

社を立ち上げて地域再生を

ビジネス化し、自然を資本

にして収益をあげていく。

そんな事業が増えそう」と

張り切っている。II 敬称略

あえて 敷居低く

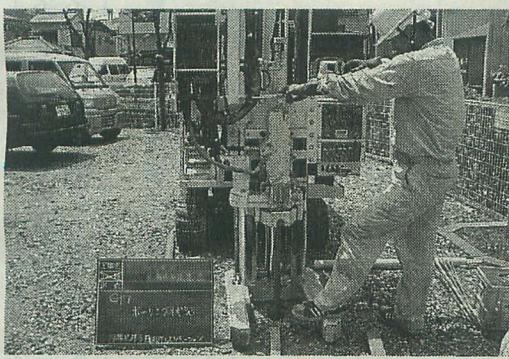
だ。町有林で林業体験事業を実施、都市住民との森林交流を行っていた。

このふたつの流れを引き継ぎ、奈須が特定非営利活動法人(NPO法人)、森の生活を設立したのは二〇〇五年。「森林を活用して仕事を生みだし、利益をあげる経営が必要だ」と役場を辞めた。「ソローホーリー底的ではなく、敷居の低い森の生活を目指している。森とのつながりを回

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）

(9)



土壤を掘削、除去することなく浄化が可能

「環境ビジネスだと分かると、ベンチャーキャピタルは半分が帰ってしまう」と苦笑いするのは、エンバイオテック・ラボラトリーズ（東京）の社長、水上春樹（46）。「政府の規制もありリスクが大きいし、I Tベンチャー並みの飛躍的な成長は見込めない。今がんばっているのは、社会のため、志ですかね」

水上はバイオテクノロジー（生命工学）を使って環境をよくするビジネスを目指し、一九九九年起業した。まずは免疫技術を使い環

大学の知を活用

境ホルモンの有無を調べる診断キットを開発、経済協力開発機構に採用された。

この環境診断が第一フェーズ（東京）の社長、水上春樹（46）。『政府の規制もありリスクが大きいし、I Tベンチャー並みの飛躍的な成長は見込めない。今がんばっているのは、社会のため、志ですかね』

水上はプロパゲー

ト・コースが新設され、渡辺に担当のお鉢が回ってきた。世界の紛争や環境問題から福祉、高齢化への対応など、既存の枠組みでは解決不可能な課題が増えている。

東京工業大学大学院の特任教授、渡辺孝（59）は、東工大OBで資金を出して、母校堀ハイテク・ベ

す。いわば人の健康環境分野への進出で、生活習慣病の薬の元になる物質を見つけるわけだ。大学教授が起

業するケースは多いが、水

ト・コースが新設され、渡辺に担当のお鉢が回ってきた。世界の紛争や環境問題から福祉、高齢化への対応など、既存の枠組みでは解

決不可能な課題が増えている。

社会イノベーションが

必要で、その担い手こそ社

会起業家だとみている。

昨年度は、NPO、自治

体、シンクタンクなど十人

の社会人、今年度はまちづ

くり系など七人が入学し

た。将来的には修士課程を

設置する考えだ。

「アジア

の学生を留学生として呼

び、課題解決のための事業

計画を作つてもらう。か

つてバングラデシユから

留学生が、現地のヒ素問題に

取り組み、低コスト水淨化

ユニットの開発に成功し

た。そういう事例を期待し

たい」と渡辺。「一方、日

本国では、NPOをもつ

と大きくなる戦略を考えた

い。こうした修士生が博士

課程に来ることで知が集積

し、議論が活発になる」

（敬称略）

技術のみならず

システムを変革

ション工法という新技术を導入した。汚染されている土壤に細いパイプを差し込み、地下で半径五㍍の円盤状の薄い砂の層（プロペグレーション）を作り、そこに微生物などの浄化促進剤を注入するやり方だ。「従来の工法と違い、土壤を掘削、除去する必要がないのが特徴」と水上。

第三フェーズは、環境汚染物質の探索法を使って、

ドキュメント

挑戦
—
土壤を掘削、除去することなく浄化が可能

医薬用に有用な物質を探

（編集委員 原田勝広）
II 敬称略

by

社会起業家

⑩

「象のウンチ・ペーパーで作った名刺です」。ミチコ・ボレー・ション（東京）社長の植田紘栄志（36）に会うと、のつけから驚かれ思わず手渡された名刺に入見入ってしまう。「この名刺は年寄り象の糞（ふん）が原料でしょう。生地の繊維が粗い。歯がないので十分かみこなせないんですね」と興味深い説明が続く。

植田がスリランカで象の糞から作る紙に出会ったのは偶然からだった。植田はオーストラリアの大企業を卒業、一九九八年、印刷機械をアジアに輸出する仕事を始めた。インドへ商用で出かけた際、スリランカ人の友人の結婚式に招かれた。



「象さんペーパー」用にファンを提供してくれる象と人は仲良し

象の糞から再生紙

「その時、ユニクロのフリースを着ていて、これはペットボトルからできるんだ」と話したら大受け。すぐにジャングルの巨大なゴミ捨て場に連れていかれました。このゴミも服になるか」と聞くから、「分別すればペットボトルは資源だ」と答えると皆の目が輝いた。

後、和紙のように紙にすぐ。「ちょうど、乱開発でジャングルが切り開かれ、工場を求めて象が人里へおり

つけたのが“象さんペーパー”だった。現地では、紙は輸入に頼っているため、身の回りの材料で自家消費

用に細々と紙を作つていった。わく、バナナの皮、馬の糞などだ。ココナツやジャックフルーツ、キユトル

象さんペーパーでレター

セットなどを生産する工場

には百人が働いている。あ

る自動車メーカーは、東南

アジアの販売店の店頭にこ

の紙で環境宣言を掲示して

いる。珍しい原料なので、

日本へ入れる時、「ワシン

トン条約で輸入を禁止して

いる、象牙など象の派生物

に該当するのではないか

と指摘された。象を守る活

動だと理解され、結局、許

可がおりた。

当時のウイクラマシンハ首相が訪米で、ブッシュ大統領に贈呈したのがこのレターセットである。ペットボトルの方は収集が困難で頓挫したが、象さんペーパーは、エコロジーとエコノミーのハーモニーの象徴。

植田は地元の人といっしょにペットボトルのリサイクル・ビジネスに挑戦する。銃殺する事態に。旧首都コロンボ近くにピンナワラ象孤児院があり、撃たれて負傷した象や、親を殺された子象七十頭以上が収容されている。当初、ここで出る糞をもらっていたと植田。

絵画コンクールを探していく見

ドキュメント

挑戦

（編集委員 原田勝広）
いぐ
|| 敬称略

野生動物と企業

植田は地元の人といっしょにペットボトルのリサイクル・ビジネスに挑戦する。銃殺する事態に。旧首都コロンボ近くにピンナワラ象孤児院があり、撃たれて負傷した象や、親を殺された子象七十頭以上が収容されている。当初、ここで出る糞をもらっていたと植田。

構を設立、ゴミ分別を始めた。子どもたちを対象に「2050年の地球」というテーマで絵画コンクールを探していく見



社会性と事業性をつなぐ懸け橋に（S I Jの六本木ヒルズでのギャザリング）

ドキュメント 挑戦

○〇三年に立ち上げたシンクタンク・ソフィアバンク代表で、多摩大学大学院教授の田坂広志（56）は、設立の狙いをこう打ち明ける。「當利と非當利の垣根が崩れつつある時代に、社会貢献か利益追求かと社会起業家に問うこと自体、無意味ではないか。日本における社会起業家の概念をもつと広げたかった」

ウェブ上の社会起業家の交流の場である社会起業家フォーラムの会員は、その数八千人。今の仕事を通じ

ネットワーク作りを支援

社会起業家を支える人々の層も厚さを増している。社会起業家フォーラムを一〇〇三年に立ち上げたシンクタンク・ソフィアバンク代表で、多摩大学大学院教授の田坂広志（56）は、設立の狙いをこう打ち明ける。「當利と非當利の垣根が崩れつつある時代に、社会貢献か利益追求かと社会起業家に問うこと自体、無意味ではないか。日本における社会起業家の概念をもつと広げたかった」

ウェブ上の社会起業家の交流の場である社会起業家フォーラムの会員は、その数八千人。今の仕事を通じ

て社会貢献したい大企業の

サラリーマン、病院を改革したい看護師、荒廃した学校現場を変えられないかと悩む先生など確かに幅広い人材が集まっている。

（勢いを増すボランタ

リーゼンジ）に社会起業家はシンクロし、企業の社会的責任（CSR）と融合してひとつつの文化になっていく」と、日本総研で多くのベンチャービジネスを手掛けた田坂は予想する。「フォーラムもWeb2.0革命により、音声や画像を送れるようになるし、インターネットラジオであるソフィアバンク・ラジオステーションも活用したい」

社会的課題に企業家精神を持つて取り組む人たちの交流を図ろうと、一橋大学教授の谷本寛治（51）も〇五年、特定非當利活動法人（NPO法人）、ソーシャル・インベーション・ジャパン（S I J）をつくった。大企業のCSR担当者を巻き込

み込み、ライブドアの絶頂期に六本木ヒルズで最初のギャザリング（集会）を開いた。企業、政府、学生も含め二百人が集まつた。

ソーシャルビジネスのノウハウ取得や、社会起業家と企業のマッチング、情報交換のため、丸ビルでS I Jサロンも開催。「手応えは十分」と満足そうな谷本だが、「公共」「政府」という考え方方がまだ根強い。N P Oが利益をあげることに偏見も残っている。社会性と事業性をつなぐイノベーションが必要だ」。

「社会起業家が連携をと

り、制度改革や法整備のた

めのアドボカシー（政策提

言）ができれば」と夢を語るのは、S I J事務局を担当しているソシオエンジニア・ソーシエイツ社長の町野弘明（45）。CSRの観点から企業と社会起業家をつなぐことを考えている。「金融機関による社会的融資を促進するため、三菱東京UFJ銀行のソーシャル・エコ・ビジネス・ポータルサイトで社会起業家の情報提供を始めた。社会起業家に投資する金融機関のソーシャル・ベンチャード・ファンドをことし中にはスター

トさせたい」

（敬称略）

ウェブに集う8000人の思い

（編集委員 原田勝広）

⑫

無気力で、落ちこぼれ。
そんな高校生の「負の連鎖」
を断ち切れないか。

NPOカタリバ（東京）の代表、今村久美（27）は岐阜の冷めた女子高生だった。小さなきっかけで運命が開けた。ある日先生に文章を褒められたのだ。作文コンクールに応募したら入賞。AO入試で慶應義塾大学に合格できた。「入学してビックリ。前のめりでエッジの立った人ばかり。一生懸命なんてダメ主义思想でいたのに」。成人式で帰郷、仲間を見るのがつらかった。

インターネット利用でスクーリングの回数は
少ない（美川特区アットマーク国際高校）

片っ端から高校へ電話を入れた。しかし、相手にしてもらえなかつた。風向きが変わつたのは、キヤリア教育の必要性が叫ばれてからである。「うちの高校にせひ」と次々に声がかかつた。カタリバの進路授業の出前。やり方は簡単だ。登録している大学生は二千人。依頼されたテーマに沿つて人選する。大企業に就職する予定の学生、起業する人、ミュージシャンになりたい

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）

（敬称略）



高校生を救え

高

学生などいろんなタイプが
がそろっている。趣味やキ
ーワードを基にしながら、
大学生が等身大の自分を披
露するのである。

「需要が多いのは、学力
「やる気のない子なんて
いない。心に響く体験や悔
しくて涙する経験を聞けば
何かが変わる。高校生の自
分探しを応援したい」と今
村は四年生の二〇〇一年、
NPOカタリバを創設し
た。高校生と大学生が「語
り場」という意味である。

カタリバは斜めの関係」
アットマーク・ラーニング（東京）社長の日野公三
(48)が不登校児用のイン

「斜めの関係」で 自分探し応援

ターネット学校「アットマーク・インターネット学校」を設立したのは二〇〇〇年。パソコン通信の「不登校の電子会議室」で、中学生同士が「高校は何とか卒業したいね」「うん、大學へは行きたいものね」とやりとりしていたからだ。

実績が認められ、二〇〇四年には、石川県白山市美川に内閣府認定による通信制高校、「美川特区アットマーク国際高校」を開校した。インターネットで日米両国の高校卒業資格を取得できる。「通信教育の概念を少しは変えられたかな」と日野。「将来は、中高一貫のインターネット学校をやってみたい」

「学ぶ機会を失つた生徒
に、一番合った学習機会を
回復してあげたい」という
思いで開校しただけに教育
はユニークだ。ネット上の
自分の専用ページで学習計
画を作成するのだが、好き
なもの、興味のあることを
念頭にテーマを選ぶ。例え
ば、旅行が好きなら、カメ
ラ、写真をキーワードにし
て、カメラの仕組みから物
理へ、カメラワークから美
術へといった真合だ。

通信制の米アルジャー・
インディペンダンス高校と
提携しており、海外高校卒
と認められる。仕事と勉強
を両立させたい米国生まれ
のモデルやテニスの海外ト
ーナメントに出ながら勉強
している生徒もいる。

ターネット学校「アットマーク・インターネット学校」を設立したのは二〇〇〇年。パソコン通信の「不登校の電子会議室」で、中学生同士が「高校は何とか卒業したいね」「うん、大學へは行きたいものね」とやりとりしていたからだ。

実績が認められ、二〇〇四年には、石川県白山市美川に内閣府認定による通信制高校、「美川特区アットマーク国際高校」を開校した。インターネットで日米両国の高校卒業資格を取得できる。「通信教育の概念を少しは変えられたかな」と日野。「将来は、中高一貫のインターネット学校をやってみたい」

イノベーション
by 社会起業家

NPOコトバノアトリエの代表理事、山本繁(29)は、ニートの就業支援モデルの構築を目指している。

一風変わったネーミングは、文学少年だった山本が大学卒業後の二〇〇二年、書くことに関心のある仲間と設立したからだ。「ボランティアで大学近くに中高生相手の小説教室を開いた。不登校、いじめられっこ多かった」

社会のゆがみを何とかできないか、と山本は事業型NPOを目指し拠点を東京へ移した。手掛けた事業は、



オールナイトニッポンの公開生放送会場（東京・渋谷）

遺産の家を「トキワ荘」と名付け、貧しい漫画家志望の若者に格安で開放するこ

「ニート」に就労機会

対象をニート、不登校児、引きこもりに限定した神保町小説アカデミーである。

「ニートは怠惰だと思われがちだが、情報感度は高い。潜在能力や創造性にも富んでいる」という山本の言葉を裏付けるように、生徒十人のうち三分の一近くが、本を出版したり、文芸冊子に私小説を発表するな

ども、店を取り仕切る若者自立塾よこはまアブレンティスシップセンター（Y-MAC）の岩本真実（36）

とした。小説、ラジオ、漫画が同居するビルという楽しい将来構想もある。

横浜市磯子区にある戦後闇市の雰囲気を残す、浜マ

ーケット。ことし初め、元ニート、引きこもりの若者

が働く、たこ焼きと丼物の店「どんかふえ」が開店した。「若い人が来て活気が出たよ」と喜んでくれる人が多く、店を取り仕切る若者自立塾よこはまアブレンティスシップセンター（Y-MAC）の岩本真実（36）

事件が起きた。四月末、商店街が火事になり、どんかふえも焼失してしまったのだ。再建に向け、岩本の対応は素早かつた。焼け跡にイベントで屋台を持ち込み、営業を再開した。十一年間、ニュージーランドやオーストラリアで、不登校児が働くレストランなど四店を任された経験がある。リ

ストカットや睡眠薬による自殺未遂に何度も遭遇した。しかし、つらくてもやめのわけにはいかない

潜在能力に期待

ビデオデビューした。

山本が今、力を入れているのが、インターネットラジオ「オールナイトニッポン」。週二回、四時間の放送だが、月に一度は渋谷からの生放送である。作家の雨宮処凜がパーソナリティで登場し、時に軽妙に、時に過激に語りだす。

最近、祖母が亡くなつた。

ドキュメント
挑戦

は「商店街への出店で地域の中に入つていけたら」と期待した。商店街のホームページがなかつたので、若者が一店一店取材に回つて立ちあげ、喜ばれた。

Y-MACには、ニート、寮で共同生活しながら自立

山本が今、力を入れているのが、インターネットラジオ「オールナイトニッポン」。週二回、四時間の放送だが、月に一度は渋谷からの生放送である。作家の雨宮処凜がパーソナリティで登場し、時に軽妙に、時に過激に語りだす。

最近、祖母が亡くなつた。

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）

II 敬称略

出産した女性へのサポートはまだ不十分。そこに社会起業家の出番もある。

団体名のマドレボニータ

・プロジェクトはスペイン語で「美しい母」。華やかな名前とは裏腹に、活動は

「産後のリハビリ」と地味かつ堅実だ。代表の吉岡マコ(34)が出産したのは二十

五歳の時だった。産後のつらさは尋常ではなく、骨盤

はぐらぐら、あちこちが痛くてまともに歩けない。

「出産までは医者や助産師が世話してくれるが、出産後は一切なし。核家族の



産後、職場復帰する女性の後押しを全国展開へ（マドレボニータ・プロジェクト）

経験を思いだし、産後一ヶ月で、独自の心身回復法を開発する。

一九九八年九月、産後のボディケア＆フィットネス教室を開設、マドレボニータ・プロジェクトを始動した。レッスンは、バランスボールの上ではざみながらの有酸素運動、五分間スピーチで脳の活性化とコミュニケーション技術向上、セルフケア技術の三本柱。

世界でも珍しい活動だけ

産後のリハビリや病児保育

中でひとりで対処せざるを得ない。行政の手助けも民間サービスもない産後は日本本の母子保健の死角」と吉岡は憤る。「密室で赤ちゃんの世話を追われ、うつ病になったり、虐待に走るケースもある」

東大時代、演劇やダンスに打ち込み、大学院では身体運動科学を学んだ。その頃から「くれない病気の子どもをケアする病児保育の活動をしている。代表理事の駒崎弘樹(27)によれば、

NECの協力で東京を皮切りに全国でワーキング・マザー・サロンを開き、各地の産後女性の職場復帰を後押しすることになった。

近代看護の革新者、ナイチンゲールのファーストネームをいただく特定非営利法人（NPO法人）、フローレンスは、保育園で預かってくれない病気の子どもをケアする病児保育の活動をしている。代表理事の駒崎弘樹(27)によれば、

「これが成り立っていない」

ここで、学生ベンチャー

の社長を経験した駒崎の起業精神が反応した。「二

〇〇四年にフローレン

スを設立、病児保育のサー

ビスを開始した。特徴は二

つ。ひとつは脱施設。事務

局に連絡が入った、登録

しているベテランママ、元

看護師、元保育士ら「駆け

つけレスキュー隊」が子どもをタクシーで病院に連れ

て行き、「在宅レスキュー

隊」として自宅で預かる。

二つ目は、月会費制だ。

毎月積み立てたお金を病気

発生時に使う「共済型」。

冬場に風邪が多く、二~三

が集中する季節要因を配慮

した結果だ。

「生まれ故郷の江東区な

ど二区で始めたが、今では

十二区にサービスを拡大し

た。一二年までに東京全区

で活動したい」と駒崎の夢

は大きい。

ドキュメント 挑戦

（編集委員 原田勝広）
II 敬称略

「死角」をなくす

きつかけは、病気の子どもが世話で会社を休んだらクビになってしまった「悲劇」の母の話を聞いたことだ。「子どもが熱を出すのも、母親が看病するのも当たり前のこと。失職するなんておかしい」と思い、調べたら、病児は保育園が預かっ

た。二つ目は、月会費制だ。毎月積み立てたお金を病気発生時に使う「共済型」。冬場に風邪が多く、二~三が集中する季節要因を配慮した結果だ。

「生まれ故郷の江東区など二区で始めたが、今では

十二区にサービスを拡大し

た。一二年までに東京全区

で活動したい」と駒崎の夢

は大きい。

イノベーション by 社会起業家



幼稚園教室「アントレプレナー・ワールド・キッズ」は英国をモデルに

現力豊かにする活動では
の興隆は、学校現場の行き
詰まりの反映だろか。
宇宙工学を勉強するつも
りで東大工学部に入学した
石戸奈々子（27）は、デジ
タルが生み出す新しい表現
やコミュニケーションに関
心を移し、マサチューセッ
ツ工科大学（MIT）メデ
ィアラボの客員研究員にな
った。「ここではIT（情
報技術）と子どもの研究を
している。トイ・シングフォ
ニーというデジタル楽器を
作ってワークショップを開
くなど子どもの創造力、表

ドキュメント 挑戦

NPO法人、日本教育開
発協会（大阪）の理事長、
山中昌幸（85）も学校へ出
向く「ドリカムスクール」
でキヤリア教育の一端を担
っている。「留学した中国
富む米国ではなく、英国病
から立ち直ろうとしていた
英國だった。ビジョナリー
・エクスプレス（東京）を
受験が目的化されてない」
デサントとのパートナー
シップの下、北陽高校では
「オリンピックで話題騒然
！ 未来のスポーツエア
を開発せよ！」というテー
マで商品開発に取り組んで
もらつた。赤と白の斬新な
デザインのスキーウエアが
最優秀作品に選ばれた。山
中は「企業の人と交流しな
がら社会や仕事について学
ぶことで、子どもは自分と
社会、現在と未来のつなが
りを実感できる。そうして
夢を描き、自信をもつてチ
ヤレンジする子へと成長す
る」と強調する。社会起業
家が、新しい教育をリード
している。

（敬称略）
（編集委員 原田勝広）

子どもに真の教育を

現力豊かにする活動では
世界一」
デジタル時代には皆コン
テンツの消費だけでなく生
産にもかかわる。欧米には、
そのための子どもの学習の
場がある。日本にも、と石
戸は二〇〇二年十一月、東
京で特定非営利活動法人
(NPO法人)、CANV
ASを設立した。

創造性や表現力 夢描く力育てる

先駆的な子ども向けにア
ニメ、音楽、ロボットづく
りのワークショップを開
いたり、それをパッケージ化
し、教材として学校で活用
する活動が中心だ。「学校
で子どもたちはパソコンを使
えるようにはなつても、
創造性、表現力に対する取
り組みはまだまだです」

（39）は「日本が抱える課
題解決に役立つ仕事を」と
時、板底（いたびさし）明
（39）は「日本が抱える課
題解決に役立つ仕事を」と
いふことでも、子どもは自分と
社会、現在と未来のつなが
りを実感できる。そうして
夢を描き、自信をもつてチ
ヤレンジする子へと成長す
る」と強調する。社会起業
家が、新しい教育をリード
している。

周囲から言わされた。社会的
課題とは何か、また、それ
に対し、これまで供給され
たことのない画期的なサ
ービスとは——。自問自答し、
（15）

肉、花などを売る。借り入
れ、仕入れも自分たちです
る。利益が出て新潟の地震
被災者に六万円寄付した子
どももいる」

NPO法人、日本教育開
発協会（大阪）の理事長、
山中昌幸（85）も学校へ出
向く「ドリカムスクール」
でキヤリア教育の一端を担
っている。「留学した中国
富む米国ではなく、英国病
から立ち直ろうとしていた
英國だった。ビジョナリー
・エクスプレス（東京）を
受験が目的化されてない」
デサントとのパートナー
シップの下、北陽高校では
「オリンピックで話題騒然
！ 未来のスポーツエア
を開発せよ！」というテー
マで商品開発に取り組んで
もらつた。赤と白の斬新な
デザインのスキーウエアが
最優秀作品に選ばれた。山
中は「企業の人と交流しな
がら社会や仕事について学
ぶことで、子どもは自分と
社会、現在と未来のつなが
りを実感できる。そうして
夢を描き、自信をもつてチ
ヤレンジする子へと成長す
る」と強調する。社会起業
家が、新しい教育をリード
している。



応募してきた社会起業家の卵たちを根気強く鍛える edge のメンバー

新しいトレンドに若者は敏感だ。特定非営利活動法人（NPO法人）、ETI C. が始めたアントレプレナー・インター・シップとビジネスプラン・コンテスト「STYLE」が地方に波及しつつある。

大阪で edge（グロー・バルな視野に立つ起業家をデザインする玄関口）の意）の実行委員長を務める田村太郎（36）が STYLE を知ったのは、二〇〇三年、「先輩社会起業家として話をしてくれないか」と誘われたからだ。兵庫県生まれの田村は阪神大震災の時、多文化共生センターを設立

「新たなトレンド」に若者奮起

し、外国人を支援した。

「関西では、メチャもうかりませ的なセミナーはあるが、高い志をビジネス手法でという斬新な発想はなかつた」と田村。「おもろいなあ。よし、大阪でもやってみよう」と、かつての震災ボランティア仲間が実行委員会に加わった。「あの時のお礼さ」。皆そんな気持ちだった。

コンペティションでは、

四年生の時、有限会社、キューベットを起業、フリー

ロック少年だった愛知県出身の横井は高校卒業後、英国のロックフェスティバル会場で、ヤキソバを売り、ビジネスのおもしろさに目

覚めた。北海道大学に入る時、面接で受験動機を聞かれ、「自分で起業したいんです」と答えた。

表理事、横井朋幸（28）は、

P-TIP（プロジェクト型イ

ンターンシッププログラ

ム）で北海道を元気にしよ

うとしている。

リーダー育成、地方に波及

女性や豚肉が食べられないイスラム教の人など日本で暮らす外国人のために、食品の成分表示を広めようとしている大阪外国语大学の学生らが最優秀賞などに選ばれた。「コンペで社会イノベーションのための仲間を増やしたい」と田村は期待している。

〇六年に発足したNPO法人、サッポロソウルの代

横井の顔は明るい。「札幌駅にあるJRタワーの柱に電子ポスターを埋め込む集客プロジェクトで、女子大生三人が飲食店などから広告を集め、初年度売り上げ七百万円を達成した。海

ドキュメント
挑戦

（編集委員 原田勝広）
――敬称略

イノベーション by 社会起業家

⑦

知的障害者支援分野の社会起業家のパイオニアを人紹介しよう。

栃木県足利市にあるココ・ファーム・ワイナリー創設者で知的障害者更生施設、こうみ学園園長の川田昇（86）。スパークリングワイン「ノボ」が二〇〇〇年、沖縄サミットの晩さん会で乾杯用に採用された。製造工程で重要なのがルミアージュ。瓶の中に入れた澱（おり）を除去するため、一日に二回、四-five度まわし、澱を集めることを百日間行うという難儀な作業だが、自閉症の子はこの作業が得意だ。銘酒誕生秘話である。



園生総出で急斜面を開墾しブドウ畑に（ココ・ルミアージュ）

挑戦

ドキュメント

知的障害者の雇用拡大

知的障害者のクラスを受け持つたが、卒業生に仕事が市内に山を購入した。一九五八年のことである。

「三八度の急斜面。南西に向いた斜面で日当たりはいい。ブドウにはぴったりだった。ただ、ナマでは安くしか売れない。二次加工に関心を持った。ワインなら一年中売れるだろうと」

「福祉」超えた プロのワイン

現在園生は百二十八人。ココ・ファームがこうみ学園に業務委託する形をとつておらず、ワイン醸造は年間十五万本。しかし、たけ二十で売り上げは三億円にのぼる。

「福祉ワイン」と、一回は売れ

るが、二度と続かない」という

のが川田の持論。沖縄サミットの晩さん会の模様はTVで放映された。園生が画面に向かって叫んだ。「おい、うちに早く飲んで。泡が消えちゃうよ」。皆プロなのである。

特定非営利活動法人（NPO法人）、ぱれっと理事の谷口奈保子（64）が知的障害者と出会ったのは、不思議な縁だった。谷口は長女を小児がんで失った。難病の子たちの役に立ちたいと病院でボランティアを始めた。うらやましかった

谷口の関心は難病児から知的障害者へと移り、東京都渋谷区教育委員会が行った知的障害者のための社会教育の場「えびす青年教室」に参加する。しかし、疑問が脳らむ。「もっといろいろな人たちとの交流が必要ではないか」。八三年、集いの場であるおかし屋ぱれっとを開く。一年後には働く場であるおかし屋ぱれっとを開く。一年後には

れっとを開く。二年後には、三年後「もっと広い視野から勉強し直したい」と母校、明治学院大学の福祉学科に再入学した。

教育実習で知的障害者を知った。「食事から衣服の着脱まで介護が必要な生徒たちが、先生や級友に囲まれ樂しそうに生活している」と評判のクッキーは二千円以上を売る。九〇年には株式会社ぱれっとを設立、スリランカレストランばれっとの経営に乗り出した。「知的障害者も利益をあげられることを証明したかった」

（編集委員 原田勝広）

2007.7.11

(4)

イノベーション by社会起業家

(18)



札幌チャレンジドが大学でパソコン講習を開くと、多くの学生がボランティアで手伝ってくれる（北海道東海大学）

NPOとボランティア橋渡し

ボランティアの場を見つけるのは意外に難しい。非営利組織（NPO）や非政府組織（NGO）とボランティア希望者をつなぐ無料情報誌、月刊「ボラみみ」を名古屋で発行している特定非営利活動法人（NPO法人）、ボラみみより情報局代表の織田元樹（46）自身、初めてのボランティア探しに一年かかった。

「新聞やテレビでは対岸の火事にしか見えない社会的課題が、ボランティア参加で身近に感じられる」と織田はその意義を解説す

る。「そのために、ボランティアへの入り口が非常に重要で、それを広げるのがボラみみの役割」郵便局に勤めていた織田は一九九九年、障害児支援のボランティア団体の友人、ボラみみより情報局を持つ。発行部数は一万部。黄茅したのは、配布先だ。名古屋駅周辺の書店やCD表理事の森田麻美子（35）が

実は、ボラみみにはモデルがある。札幌のNPO法人、ボラナビ専業部の月刊「ボラナビ」である。NHKアナウンサーをしていた代表理事の森田麻美子（35）が

「学ぶ側は一回に千三百円を払う。これまでに延べ二千人が講習を受けた」と事務局長の加納尚明（45）。

「話すことができない人が

メールで「コミュニケーションが可能になる。筋力が衰えるALS（筋萎縮性側索硬化症）の場合、身体が動

かないので、まばたきや、ほおの筋肉を動かすことで発信できる」

教える講師も初めは健常者だったが、いまはすべて障害者になった。「これま

での福祉は自分たちだけで閉じていた。これからは、企業や行政との連携が必

要。こちらからいろんな提案をしているし、実現した事業もある。これこそ社会起業家の活動だ」と加納は強調した。

「善意で自分の金をつぎ動物の着ぐるみをつけて『野生の動植物を守ろう』と募金を呼びかけるボランティアなどだ。」「善意で自分の金をつぎ

ドキュメント 挑戦

店を回ったが、オウム真理教事件のせいか、どこも置かせてくれない。しかし、ついで訪ねた書店が引き受けてくれた、感激した。今では八十カ所に拡大している。求人側は五百团体で、半分以上が福祉系。人気があつたのは、東山動植物園で

動物の着ぐるみをつけて

「野生の動植物を守ろう」

と募金を呼びかけるボラン

ティアなどだ。

入り口に情報誌

コンビニ決済できるネット募金や、北海道の特産品のインターネットショッピングを運営、多くの団体に入は、会費、広告、愛知県や名古屋市からのNPO情報を委託収入のほか、ボランティア求人情報をヤフー、厚生労働省に売っている。郵便局に勤めていた織田は一九九九年、障害児支援のボランティア団体の友人、ボラみみより情報局を持つ。発行部数は一万部。「ボラナビ」である。NHKアナウンサーをしていた代表理事の森田麻美子（35）が

「学ぶ側は一回に千三百円を払う。これまでに延べ二千人が講習を受けた」と事務局長の加納尚明（45）。

「話すことができない人が

メールで「コミュニケーションが可能になる。筋力が衰えるALS（筋萎縮性側索硬化症）の場合、身体が動

かないので、まばたきや、ほおの筋肉を動かすことで発信できる」

教える講師も初めは健常者だったが、いまはすべて障害者になった。「これま

での福祉は自分たちだけで閉じていた。これからは、企業や行政との連携が必

要。こちらからいろんな提案をしているし、実現した事業もある。これこそ社会起業家の活動だ」と加納は強調した。

（編集委員 原田勝広）
II 敬称略

2007.7.12

(7)

イノベーション・ヨシヨシ by 社会起業家

ハウイング・ナショナル
社長、正田英樹（34）は山

口生まれ。福岡県飯塚市の
九州工業大学情報工学部を

卒業したら、東京か大阪の
企業に就職するつもりだっ

た。

ひとつの出会いが運命を
変える。中古家具や自転車
をリサイクルし、中国や韓
国などアジアからの留学生

に無料で貸している公民館
館長と知り合ったのだ。「飯
塚を愛する気持ちにショッ
クを受け、ここに残ろうと
いう気になった」と正田。

「就職の場がないなら起業
すればいい」と

地域に貢献

すればいいと」

商店主らとベンチャー企
業を立ち上げたのは一九九

七年。米スタンフォード大
学教授のジョン・ペリーが

九工大で講演、「飯塚をア
ジアのシリコンバレーに」
と励ましてくれた。しかし、
飯塚に仕事はなかった。仕

方なく福岡市に拠点を移
し、食いつなぎ日々だった。

岩村龍一（46）が岐阜県

大の学生延べ千五百人を市
内の小中学校へ送り込ん
だ。今ようやく、東京から
ビジネスの話が来るようにな
った。九工大の卒業生も

地元に残り六十社くらい起
業している。「アジアのシ
リコンバレーーーZUK

A」らしくなってきた。「飯
塚に中国から技術者を招
き、文化、習慣まで研修し

て日本で働いてもらう。こ
こで世界のベンチャー起業

家を育てたい」

ある日、友人から「人間ど
う生きるかは、志の問題」

と言われ、生まれ変わった。

社員は人生への再チャレ

ンジ組が多かった。岩村は
「私も負け組。社会への貢
献という新たな評価基準で

人生の勝ち組になろう」と
檄（げき）を飛ばした。

「ミニニティタクシーに

は独自のサービスがある。

運転手が必ず手でドアを開
ける「ドアサービス」に始
まり、買い物代行、お墓参
りのお供、病院送迎に付き

添いと幅広い。

社内に便利屋事業部があ

り、タクシー業務とは別体

多治見市で「ミニニティタ
クシーを開業したのは二〇

〇三年。「市民タクシー」を

はベンチャー企業を辞め、
飯塚へ戻る決意をする。地

域の自立を支援するとい
う意味で、「ハート・アット

・ワーク」（HAW、後に
ハウイング・ナショナル）
を、設立したIT（情報技
術）企業の名前にして。

忙しかったのはインター
ネット教育。小中学校にコ
ンピューターが導入されつ
つある時で、正田は、九工

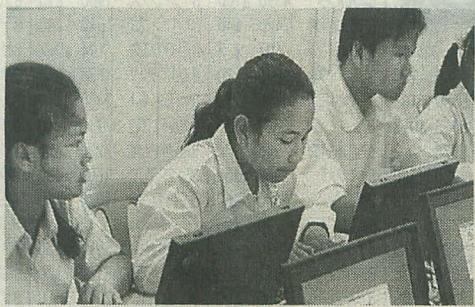
ドキュメント
挑戦

コミュニティタクシーは病院の近くに
お客様用の「まちあいサロン」を設置

ある人に言われた「創業
の原点を忘れるな」。正田
はベンチャー企業を辞め、
飯塚へ戻る決意をする。地
域の自立を支援するとい
う意味で、「ハート・アット
・ワーク」（HAW、後に
ハウイング・ナショナル）
を、設立したIT（情報技
術）企業の名前にして。

岩村は大きな挫折を味わ
っている。愛知工業大学を
出て、薬業原料の採掘兼運

（編集委員 原田勝広）



かものはしプロジェクトがカンボジアで開いているパソコン教室で熱心に学ぶ子どもたち

家族は「マザー・テレサになることはない」と猛反対。東京都の学生起業家選手権にいちるの望みを託したが、落選。もつやめようとした。村田はカンボジアへ傷心の旅にたつ。児童買春を病した。「こんな年で……」旅は、四ヶ月後、横浜で開かれた「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」に若者代表として出席するための準備であった。

「会議は、大成功だった。でも、現実はなにも変わっていなかった」

途上国之力に

児童買春を何とかしたい、と思い詰めた村田は、社会起業家に関心を持つ東大生、青木健太（24）、木戸恵介（25）を巻き込み、特定非営利活動法人（NPO法人）かもののはしプロジェクトをスタートさせた。対象はカンボジア。IT（情報技術）で職業訓練ができる

心に灯がともつた。

帰国後、運良く、ビジネス・プラン・コンテストで優秀賞を獲得、プロジェクトは軌道に乗った。今、カ

ンボジアでは百人の元ストリートチルドレンや貧困家庭の子がパソコン教室で学ぶ。「国内のIT事業も順調で〇七年度は売上高は一億円に達しそう。WEB制作の一部を将来、カンボジアに発注したい」

村田が落選した東京都学生起業家選手権で優勝した

らしていたナマケモノが生きる場所を失っていた。エクアドルの美しい環境を守るために、現地からコーヒーとや雑貨をフェアトレードで輸入しようと決意した。

いまコタカチ郡など三地域から、コーヒー、リュウゼツランの葉で編んだ水筒用ホルダー、ベルト、バッグのほか、象牙ヤシの種で作ったブレスレットなどを輸入、全国のお店に卸している。売り上げは年間二千六百万円に達する。

子どもを守る

IT職業訓練

家族は「マザー・テレサになることはない」と猛反対。東京都の学生起業家選手権にいちるの望みを託したが、落選。もつやめようとした。村田はカンボジアへ傷心の旅にたつ。児童買春を強要された女の子四十人が保護されている施設を訪ねた。お仕置きの電気ショックの跡に目をそむけた。「私たちの力は小さいが、ひとりでも変われる子がいるなら挑戦すべきでは」と再び、

ドキュメント
挑戦

藤岡唯美（27）が共同代表を務めるスローウォーターカフェ有限会社である。明治学院大学に入つて非政府組織（NGO）ナマケモノ俱乐部のボランティアで、エクアドルを訪れた。鉱山開発や原油掘削でジャングルが開かれ、和平に暮らすべきでは」と再び、

（編集委員 原田勝広）
II 敬称略

②

豊かなコミュニティー模索

商店街の活性化に取り組むジャパンエリアマネジメント（JAM）社長の西本千尋（24）がこの道に進んだのはトランクルームのためかもしれない。大学に入り生まれ故郷の埼玉・川越の資料を調べていたら、蔵の街・川越の景観を破壊する建物の記録があった。驚いたことに、それが西本が生まれたマンションだったのだ。

学生時代、青春18きっぷで全都道府県を踏破した。

「画」的なバスローターーに歩行者デッキ。中心街はどこも衰退し、文化のかけ



高齢者（手前）宅で思い出を聞き取る「昭和の記憶」のスタッフ

らもなかった」と西本。「尾道や山形など日常生活にまちづくりが溶け込んでいる街は、おばあちゃんが、どうからって声をかけてくれるんですけど」

個性的な商店街をつくりたいと、二〇〇五年、JAMを設立。札幌・狸小路、福岡・新天町など先進的な十一の商店街にパートナー

P.O.法人）「昭和の記憶」代表理事の盛池雄歩（37）も鉄道ファンで全国のJR路線を乗り尽くした。感じたのは西本と似て、駅前の

三女）、松本零士（漫画家）ら著名人も含まれている。た。相馬雪香（尾崎行雄の特別企画もある。「北方四島の記憶」はソ連兵に追われて引き揚げてきたり、捕虜になつたりした元島民の証言集だ。「印象深かつたのは国後島出身の永塚良さん。シベリアへ連行され、洗濯の仕方が悪いと処刑の危機に。ところが処刑が失敗し、大けがのまま船に投げ捨てられ、漂流しているところを米沿岸警備隊に拾つたが、精神性の根幹を成す先祖伝来の縦の視点が継承されていない。昭和を生き抜いた人たちが亡くなる前に記録しなくては」とNPOを〇三年に立ち上げ

「原宿表参道櫻会では広告の色や業種に条件をつけたり、環境に理解のある企業の広告を増やし、売り上げの一部をエコ基金に寄付している」。全国キャラバンでまちカルテをおさらいしながら、広告で集めるお金の使途を議論していく。

打ち込んだ。原点は、高校生の時、山梨でいっしょに暮らした祖母。寝たきりになつた時、必死に話を聞きパソコンに打ち込んだ。

聞き取りは出版してい

る季刊誌「市井の昭和史」。

これまでに六十人を掲載し

た。相馬雪香（尾崎行雄の

特別企画もある。「北方

四島の記憶」はソ連兵に追

われて引き揚げてきたり、

捕虜になつたりした元島民の証言集だ。「印象深かつたのは国後島出身の永塚良

さん。シベリアへ連行され、

洗濯の仕方が悪いと処刑の

危機に。ところが処刑が失

敗し、大けがのまま船に投

げ捨てられ、漂流している

ところを米沿岸警備隊に拾

つたが、精神性の根幹を成

す先祖伝来の縦の視点が継

承されていない。昭和を生

き抜いた人たちが亡くなる

前に記録しなくては」とN

P.O.を〇三年に立ち上げ

商店街立て直し カルテ作り応援

になつてもいい、「まちカルテ」づくりを始めた。例えば、大阪・心斎橋筋商店街は人出の多い老舗だが、後継者難から店舗を携帯電話ショップやドラッグストアに貸す店が増えている。全国七都市の主要商店街にある中心市街地活性化戦略委員会の中に広告実行委員会を新設しようとしている。商店街のまちづくりの資金集めにストリート広告を活用しようとしている。

ドキュメント
一 挑戦

になつてもいい、「まちカルテ」づくりを始めた。例えば、大阪・心斎橋筋商店街は人出の多い老舗だが、後継者難から店舗を携帯電話ショップやドラッグストアに貸す店が増えている。全国七都市の主要商店街にある中心市街地活性化戦略委員会の中に広告実行委員会を新設しようとしている。商店街のまちづくりの資金集めにストリート広告を活用しようとしている。

（編集委員 原田勝広）

社会起業家と文化、芸術
は意外と親和性が高い。

札幌の映画館、シアター
キノを経営するキノの社
長、中島洋（57）が、最初
の映画館をつくったのは一
九九二年。ブームだったミ
ニシアターがバブル崩壊で
バタバタと倒れていた時
だ。人生のささやかな楽し
みを奪われるのは困る、と
ビデオ上映の常設スペース
を映画館にすることになっ
た。「といってもお金がな
い。友人に一人十万円ず
つだしてもらつて千五百万
円で完成させた」。客席二



コンカリーニョの舞台に
地元の人が役者で出演

市民出資で文化支える

十九の日本一小さな映画館
だった。下関生れだが、
北海道大学映画研究会育ち
で気持ちは道産子だ。キノはいい映画を上映す
ると評判を取つたが、いか
んせん狭い。六年後、現在
の狸小路に移り、六十三席
と百席の二館を経営していく。
「その時は四百十人か
ら八千円出資してもらつ
た。三分の二は個人的には
知らないキノ・ファンで、
市民出資型映画館になつ
た」という中島は、多様性
と可能性を強調する。「映
画マーケットの九割はハリ
ウッド物だが、芸術的、文
化的に優れているものはほ
かにもある。日本の若い人
の作品も見てもらいたい」
中島は、特定非営利活動
法人（NPO法人）北海道
コミュニティシネマ・札幌
の事務局長も兼ねており、

②

十九の日本一小さな映画館
だった。下関生れだが、
北海道大学映画研究会育ち
で気持ちは道産子だ。キノはいい映画を上映す
ると評判を取つたが、いか
んせん狭い。六年後、現在
の狸小路に移り、六十三席
と百席の二館を経営していく。
「その時は四百十人か
ら八千円出資してもらつ
た。三分の二は個人的には
知らないキノ・ファンで、
市民出資型映画館になつ
た」という中島は、多様性
と可能性を強調する。「映
画マーケットの九割はハリ
ウッド物だが、芸術的、文
化的に優れているものはほ
かにもある。日本の若い人
の作品も見てもらいたい」
中島は、特定非営利活動
法人（NPO法人）北海道
コミュニティシネマ・札幌
の事務局長も兼ねており、

地域と歩む劇場 愛を込めて再建

北海道に豊かな映画映像文化の環境をつくるための映画講座、子どもへの映像教育など地域への貢献活動を続いている。元からも「劇場再建」の声がわき起こつた。

今度は琴似駅の再開発で倉庫が解体されることになった。これまでか、と思ったが、斎藤はがんばった。地元の人といつしょに芝居をつくっている。中田官兵の話などで地元の五十七歳として運営することを決意、コンカリーニョ（スペイン語で愛を込めて、の意）を立ち上げた。

ドキュメント 挑戦

「地域の人といつしょに芝居をつくっている。中田官兵の話などで地元の五十七歳として運営することを決意、コンカリーニョ（スペイン語で愛を込めて、の意）を立ち上げた。

「地域の人といつしょに芝居をつくっている。中田官兵の話などで地元の五十七歳として運営することを決意、コンカリーニョ（スペイン語で愛を込めて、の意）を立ち上げた。

（編集委員 原田勝広）

2007.7.19
(6)

イノベーション by 社会起業家

(23)

政府や企業の中に社会起業家精神を持つ人が増えている。ソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）ならぬ「ソーシャル・インテラプレナー」だ。

組織の中で

谷は新たなビジネスモデルを開発した。それまでは古紙は原料だからと、回収会社がお金を払っていた。これが逆転し、東電など出し手側が払う日本初の仕組みをつくった。「キロ当たり十六円払うが、ゴミとして出すと同二十八・五円だから四割のコストダウンになるところがミソ」

半谷栄寿（54）が環境NPOオフィス町内会をつくり事務局代表に就いたのは一九九一年。東京都千代田区にある本社の総務部文書課副長の時だ。期限切れの書類の山に頭を痛める毎日。回収会社は古紙相場が安いため交通渋滞の中、取りにきてくれず、社内で分別しても、ゴミとして出さざるを得ない状況だった。

「継続する古紙リサイクルには経済性が重要」と半谷は「ソーシャル・インテラプレナー」だ。

千代田、中央、港各区の企業を町内会として巻き込むことで、古紙の共同回収が軌道に乗り、現在会員企業は千百二十社、年間回収量は七千二百九十万に及ぶ。全国五十カ所に「オフィス町内会」方式が拡大している。



間伐で光が入ると、下草が生え動植物が戻って森が生き返る（岩手県岩泉町）

その半谷が

挑戦

ドキュメント

木曾麻里（40）が代表を務める有限責任事業組合（L.P.）ファーストブルーはおしゃれなCSR支援プロジェクトに乗り出している。参加企業はイメージカラーである青色を使って製品やサービスを開発、売り上げの一部が世銀の「グローバル・ユース・インベントメント基金」に寄付される。世界の若者の教育や自立支援に使われる。

「政府開発援助（ODA）だけでなく、もっと企業といっしょに国際協力をできなかと考ながら東京・下北沢で飲んでいて思いついた」と小木曾。「携帯電話パソコン、カードなど七社と交渉中。三年間で十億円の売り上げを目指す」共同設立者でロサンゼルス在住の斎藤慎（39）は「企業評価を上げながら販促につながる活動。社会貢献をはじやすい。森の町内会も全国展開したい」

世界銀行多国間投資保証機関の東京事務所長、小林には「東電の信用で、活動はしやすい。森の町内会も難しく考えている人には、社会と接点を持つきっかけにしてほしい。ブルーの製品を買うことで世界が変わること運動です」。

環境、貧困など地球規模問題の解決には、協奏の精神が欠かせない。〔敬称略〕

（編集委員 原田勝広）

間伐材活用の紙 縁の下に信用力

回収会社は古紙相場が安いため交通渋滞の中、取りにきてくれず、社内で分別しても、ゴミとして出さざるを得ない状況だった。

「継続する古紙リサイクルには経済性が重要」と半

千代田、中央、港各区の企業を町内会として巻き込むことで、古紙の共同回収が軌道に乗り、現在会員企業は千百二十社、年間回収量は七千二百九十万に及ぶ。全国五十カ所に「オフィス町内会」方式が拡大している。



間伐で光が入ると、下草が生え動植物が戻って森が生き返る（岩手県岩泉町）

その半谷が

挑戦

ドキュメント

木曾麻里（40）が代表を務める有限責任事業組合（L.P.）ファーストブルーはおしゃれなCSR支援プロジェクトに乗り出している。参加企業はイメージカラーである青色を使って製品やサービスを開発、売り上げの一部が世銀の「グローバル・ユース・インベントメント基金」に寄付され、世界の若者の教育や自立支援に使われる。

「政府開発援助（ODA）だけでなく、もっと企業といっしょに国際協力をできなかと考ながら東京・下北沢で飲んでいて思いついた」と小木曾。「携帯電話パソコン、カードなど七社と交渉中。三年間で十億円の売り上げを目指す」共同設立者でロサンゼルス在住の斎藤慎（39）は「企業評価を上げながら販促につながる活動。社会貢献をはじやすい。森の町内会も全国展開したい」

世界銀行多国間投資保証機関の東京事務所長、小林には「東電の信用で、活動はしやすい。森の町内会も難しく考えている人には、社会と接点を持つきっかけにしてほしい。ブルーの製品を買うことで世界が変わること運動です」。

環境、貧困など地球規模問題の解決には、協奏の精神が欠かせない。〔敬称略〕

（編集委員 原田勝広）

イノベーション by 社会起業家

②

「エンジニア——社会起業家が世の中を変え」の著者でニューヨーク在住の渡邊奈々は「社会起業家は世界の閉塞（へいそく）感に風穴を開ける新しいビジネスを担っている」とみる。

著書の冒頭に「社会起業家の父」として紹介されているのが、アンヨカ財団創設者のドレイ頓だが、日本でも社会起業家を育てようという動きは活発だ。

井上英之（35）は、慶應義塾大学で社会起業論を教えており、受講希望者が殺



どの団体に投資するか、書類審査に忙しい東京ソーシャルベンチャーズ

資金支援のかたち

到している。「傷ついても障害があるても、好きだからする」という社会起業家の生き方が受けている」

講師になる前、シアトルのソーシャル・ベンチャー・パートナーズ（SVP）で働いた。エリートたちが五千五百ドルずつ出資し、社会起業家に投資する、いわば、「ベンチャー・キャピ

・アンド・カンパニーの社

が深刻。日本の社会起業家への期待は大きい」と井上。

井上の授業で渡辺栄一の

社会起業家的な生涯の話を

しているのが、投資コンサルティング会社、シブサワ

・アンド・カンパニーの社

成功者は社会に還元してい

る。社会起業家も対象のひ

とつだ。「日本では、お金

持ちと社会起業家のつなが

りがない。それで、日本の

社会起業家のスタートを支

援しようと考えた。ボイジ

ヤー側は、いいね、とすぐ

承諾してくれた」

渡辺は最近「巨人・渡辺

栄一の『富を築く100の教

え』を出版した。九十六

番目の教えにこうある。「お

金はうまく集めて、うまく

使え」。渡辺は「团塊の世代も一生懸命働き、たくさん稼いできた。ここで社会起業家への支援にお金を使つのもいいかも」。確かにそんな日本になつてほしいものだ。

閉塞感に風穴

期待込め「寄付」

タルの社会版”である。

二〇〇六年に、東京ソーシャルベンチャーズがSVPの東京支部として認められた。出資者は、外資系メ

ンターと協力して「SEE

D Cap Japan（社

会起業家育成資本プログラ

ム）を立ち上げた。米国

中堅ファンド・オフ・ファ

ンズ（FOF）のボイジャー

ても寄付”。ただ、資金を返せるようになりたいといふ社会起業家もあり、将来はリターンもあり得る。

これまでに、多文化共生

長、渡辺健（46）。栄一から数えて五代目の子孫だ。

〇四年に日本国際交流セ

ンターと協力して「SEE

D Cap Japan（社

会起業家育成資本プログラ

ム）を立ち上げた。米国

中堅ファンド・オフ・ファ

ンズ（FOF）のボイジャー

ても寄付”。ただ、資金を

返せるようになりたいといふ社会起業家もあり、将来はリターンもあり得る。

これまでに、多文化共生

ドキュメント

挑戦

（編集委員 原田勝広）

II 敬称略

「イノベーション by 社会起業家は今回で終わり、23日付から「ウェア編集長奮戦記」を掲載します。